

Chapter 2

私たちについて

- 09 企業理念 (Our Philosophy)
- 10 HISTORY
- 11 DUNLOPグループの事業
- 12 財務・非財務ハイライト

企業理念(Our Philosophy)

Slogan

ゴムの先へ。 はずむ未来へ。

不透明で変化の激しい環境に柔軟に対応し、さらなる成長を遂げるための共通の指針が、企業理念体系「Our Philosophy」です。約400年間受け継がれてきた「住友事業精神」を基盤に、「Purpose」を起点とした4つの概念を体系的に整理。従業員一人ひとりが会社の存在意義を認識し、ベクトルを合わせて力を発揮するための意思決定の拠り所であり、行動の起点となるものです。

「Our Philosophy」の浸透活動

1 グローバル研修

「Our Philosophy」の浸透を「認知」「理解」「共感」「実践」の4フェーズに分け、各部門・拠点の状況に応じた施策を推進しています。2025年は海外拠点のフォローアップを目的に浸透度調査を実施し、インタビューを通じて課題や必要なサポートを把握しました。その結果を踏まえ、海外拠点向けワークショップを開催しました。今後は「Global HR Hub」を活用し、国内外の人事担当者による定期的なオンラインワークショップやディスカッション、導入ツールの提供を通じ、グローバル全従業員の理解と実践を深めていきます。



「Our Philosophy」ワークショップ 講義

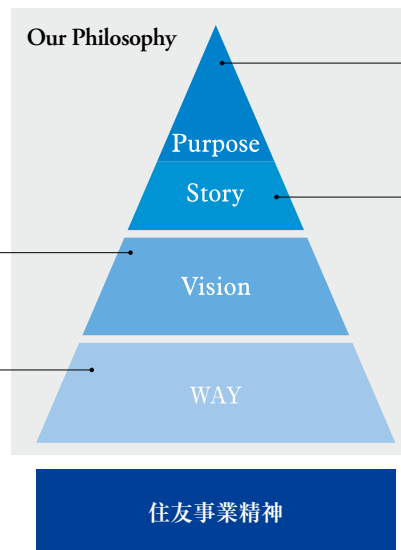
DUNLOPの企業理念体系「Our Philosophy」

Vision

多様な力をひとつに、共に成長し、変化をのりこえる会社になる。
「Purpose」を体現するために「ありたい姿」

WAY

信用と確実を旨としよう
挑戦しよう
お互いを尊重しよう
一人ひとりが大切にする価値観



Purpose

未来をひらくイノベーションで
最高の安心とヨロコビをつくる。
DUNLOPの「存在意義」

Story

ゴム素材の可能性を誰よりも信じること。
様々な「世界初」をつくり出してきた最先端のゴム技術と、そこから広がる新たな技術の開発に挑戦し続けること。
お客様と社会からの信頼にこたえ、その期待を超える価値の創造にこだわること。そして、人を、社会を、未来を支える「最高の安心とヨロコビ」をつくり出し、世界へ提供する。
「DUNLOP」は、そのために存在する。
「Purpose」の背景にある信念

創業以来約400年にわたり受け継がれてきた「住友の事業精神」

- 信用と確実**
「何よりも信用を重んじる」こと、「常に相手の信頼に応える」こと
- 進取の精神**
時代の変化に対応し、積極的に一歩先を行く姿勢であること
- 事業は人なり**
企業を守り育てていくのは人材であること
- 自利利他、公私一如**
常に「社会への報恩」を考え、公益との調和を図る経営姿勢であること

2 ベトナム工場の「My SRV Journey Map」

ベトナム工場 (SRV) では、「Our Philosophy」を従業員一人ひとりの価値観に結びつけるため「My SRV Journey Map」を職場に掲示しています。従業員が手書きで記入したメッセージカードを作成し、印象的なメッセージは「Live the SRV Way Gallery」に展示して「Our Philosophy」を体現する事例として紹介しています。仲間の想いを共有することで相互理解を促進し、理念を身近に感じる機会を創出しています。



My SRV Journey Map

3 ブラジル工場の「Our Philosophy」月間

ブラジル工場では毎年9月を「Our Philosophy」月間と定め、担当部署のメンバーがアイデアを出し合っ、PRグッズとしておせんべい(写真)を配布しました。さまざまな活動を従業員に周知し認知度を高めるため、PRグッズ制作予算を設け、HR運営メンバーがゲートでのグッズ配布やイントラネット、掲示板などを活用し、より多くの従業員に関心を持ってもらえるよう工夫しています。



「Our Philosophy」が入ったおせんべい

HISTORY

ジョン・ボイド・ダンロップが 世界初の空気入りタイヤを実用化

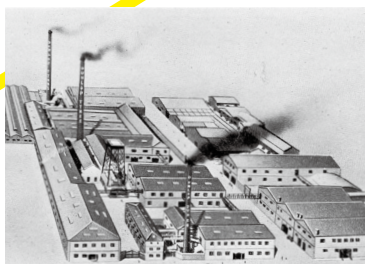
アイルランドに住む獣医師ジョン・ボイド・ダンロップは10歳になる息子のジョニーに「僕の3輪自転車をもっとラクに、もっと速く走れるようにして」と頼まれました。ジョンは実験を重ねた末に、ゴムのチューブとゴムを塗ったキャンバスで空気入りタイヤを作り、これを木の円盤の周りに固定しました。この空気入りタイヤで走ったジョニーは大喜び。ジョンはさらに改良を重ね1888年、「空気入りタイヤ」の特許を取得し世の中に広めました。



ジョン・ボイド・ダンロップ

J. B. Dunlop

1888



神戸工場 (1921年ごろ)

神戸工場操業開始

英国ダンロップ社が神戸に工場を建設。日本初の近代的ゴム工場として創業。

1909

「住友ゴム工業株式会社」に社名変更

1963年に住友の経営となり、1981年、現在のFALKENブランドにつながるオーツタイヤ株式会社と全面業務提携(2003年合併)。

1963~

住友の経営になる

住友事業精神の源流

住友家初代住友政友は、商人としての心得を説いた「文殊院旨意書(もんじゅいんしいがき)」を残しました。その教えは近代の「営業の要旨」を経て、住友400年の事業精神として継承され、住友グループの経営を支えてきました。「住友事業精神」には「住友の事業は住友自身を利するとともに、国家を利し、社会を利する事業でなければならぬ」という社会に対する強い使命感が込められており、当社グループの企業理念の基盤となっています。



住友政友の木像
(写真提供:住友史料館)



文殊院旨意書(1650年頃)
(写真提供:住友史料館)

1983

1999~

2025

コミュニケーションブランドを DUNLOPに統一し、グローバル展開を加速

米国グッドイヤー社から欧州・北米・オセアニア地域における四輪タイヤのDUNLOP商標権等取得。3月には長期経営戦略「R.I.S.E. 2035」を公表。12月にはコミュニケーションブランドを「DUNLOP」に統一。



米国グッドイヤー社とタイヤ事業に おけるアライアンス契約を締結

日本とアジアは当社が、北米と欧州は米国グッドイヤー社がDUNLOPブランドの製造および販売を行う合併体制に移行。このアライアンス契約および合併体制は2015年に解消。

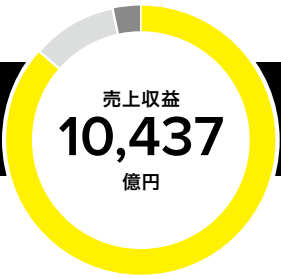


英国ダンロップ社から欧州事業を買収

1983年に英国ダンロップ社から欧州事業を買収。1984年には英独仏の6工場とタイヤ技術中央研修所を、さらに1986年に米国ダンロップを買収して世界の盟主にな。



DUNLOPグループの事業



タイヤ事業

—もっと、走る、喜びを。—

乗用車・トラック/バス・産業車両・モータースポーツなど、暮らしや社会に関わるさまざまなシーンで活躍するタイヤ。DUNLOP(ダンロップ)・FALKEN(ファルケン)をメインブランドに、人や環境にやさしいタイヤづくりに挑んでいます。



乗用車

普通乗用車からSUV用など多くの自動車用タイヤをラインアップ。オールシーズンタイヤ、夏用タイヤ、冬用タイヤなど幅広い用途に対応しています。

トラック/バス

トラック、バス用タイヤを多くラインアップ。オールシーズンタイヤ、夏用タイヤ、冬用タイヤ、非舗装路用タイヤ等、幅広い用途に対応します。

産業車両

高荷重・低速運転などさまざまな条件に対応した製品です。用途により空気入りタイヤ、トラクシュタイヤなど複数の構造を適用しています。

農耕機

トラクタ、耕うん機、運搬車、作業機など、農業の現場で活用される農耕機に対応した製品です。



レース・ラリー

スピードや耐久性など、各競技で求められる用途に沿って専用開発し、レースやラリーでの活躍をサポートしています。




モーターサイクル

オンロード用からオフロード用、ミニバイク用からビッグバイク用まで豊富なカテゴリーの2輪用タイヤを取り揃えています。



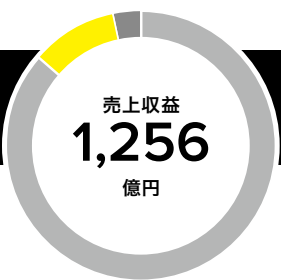
タイヤパンク応急修理キット

パンクしたタイヤに修理材を注入し空気を充填することで一時的な走行を可能にする修理キットは、多くの車両に採用されています。



SENSING CORE(タイヤセンシング)

タイヤの回転により発生する車輪速情報と、車両に流れる情報を複合解析し、タイヤ周辺の状態を検知・推定するソフトウェアです。



スポーツ事業

—お客様のスポーツライフをもっと豊かに。—

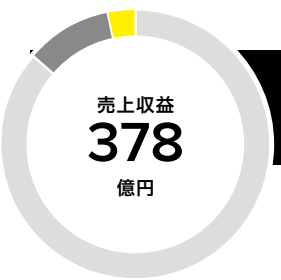
高い技術力をより豊かなスポーツライフのために。ゴルフクラブ、テニスラケットなど、使いやすく高機能な製品を提供するとともに、ゴルフ・テニススクールの運営に取り組み、お客様の心と体の健やかな毎日をサポートしています。近年はeスポーツ事業にも取り組んでいます。



ゴルフ

テニス

(およびその他ラケットスポーツ)



産業品事業

—もっと、生きる、喜びを。—

これまでの歩みで培ったゴム技術をベースに作り出される産業の数々が、人の命、健康、移動を守り、暮らしを支える商品として提供されています。世の中のニーズの広がりとともに、そのフィールドは産業インフラから医療、生活、ヘルスケア用品まで。先進のテクノロジーの可能性に、世界が注目しています。



高機能ゴム

医療用ゴム製品 制振ダンパー




生活資材・産業資材

ゴム手袋 建築フロア スポーツ人工芝







財務・非財務ハイライト (2025年度)

財務・非財務データ

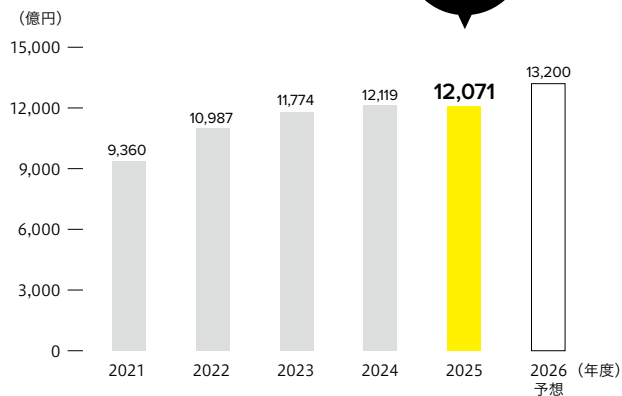
財務ハイライト

財務資本

売上収益

1兆2,071億円

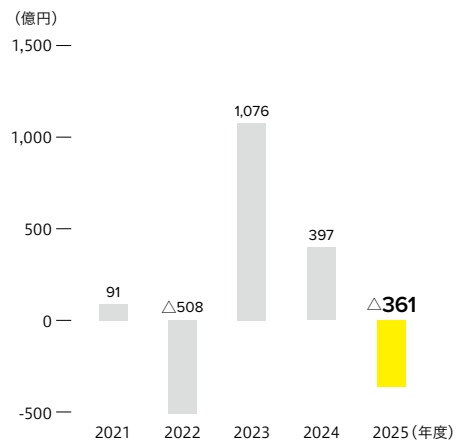
前期比
0.4%
DOWN



財務資本

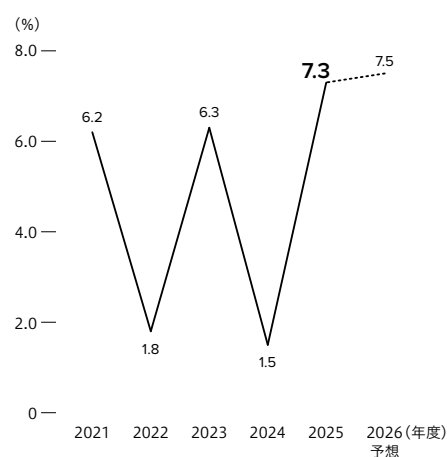
フリー・キャッシュ・フロー

△361億円



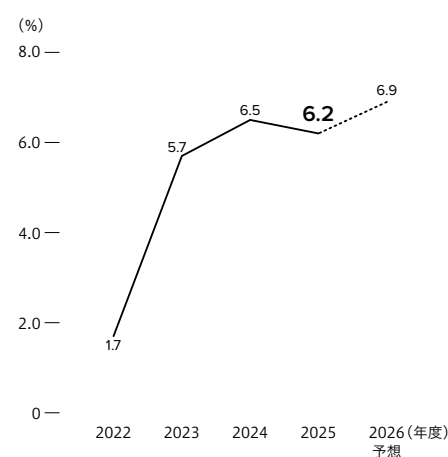
ROE

7.3%



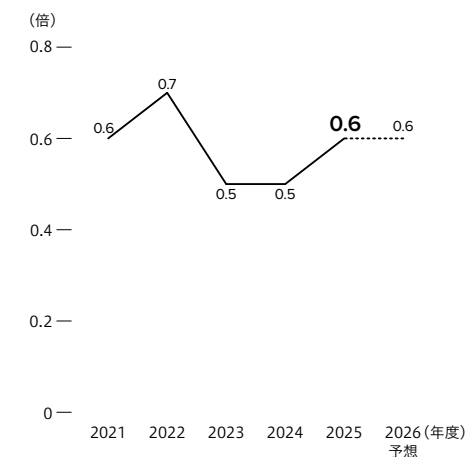
ROIC

6.2%



D/Eレシオ

0.6倍

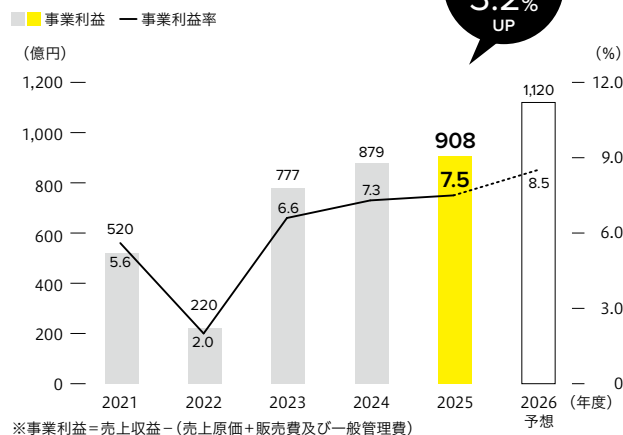


財務資本

事業利益／事業利益率

908億円／7.5%

事業利益
前期比
3.2%
UP

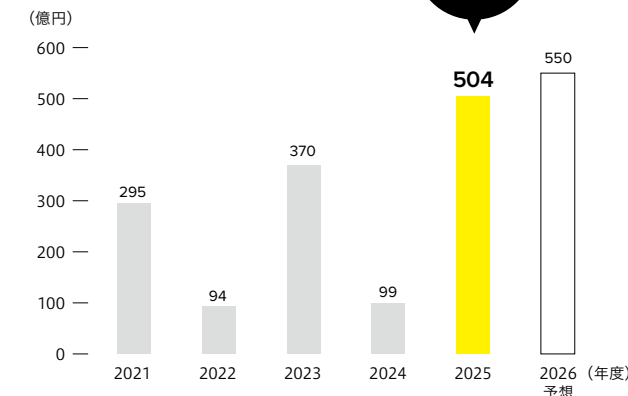


財務資本

親会社の所有者に帰属する当期利益

504億円

前期比
410.7%
UP



財務資本

財務資本



ダイレクトリンク

私たちに
ついて

ビジョンと
戦略

事業活動

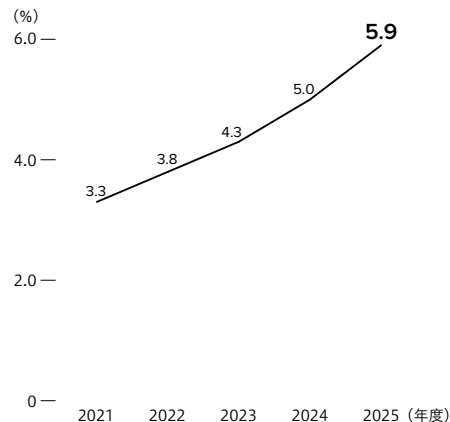
サステナ
ビリティ

コーポ
レート
ガバナ
ンス

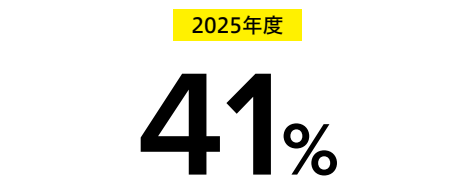
会社
情報

非財務ハイライト

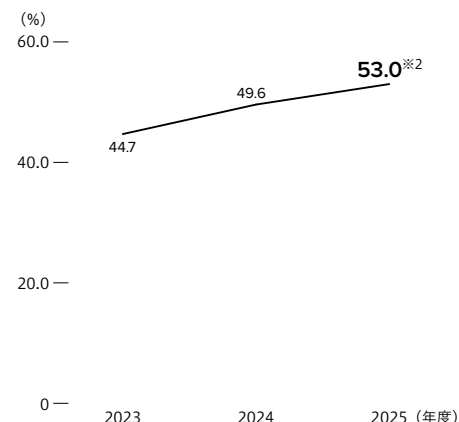
女性管理職比率 (単体) 人的資本



従業員エンゲージメントスコア (単体) 人的資本

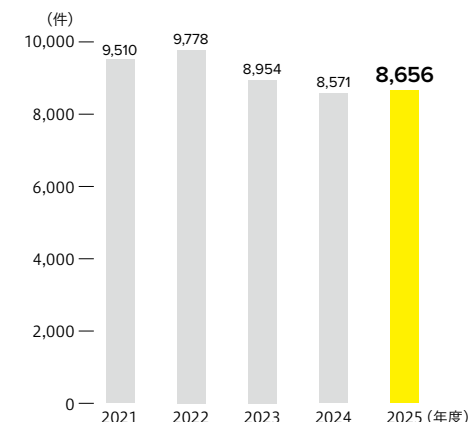


「Our Philosophy」共感率^{※1} (単体) 人的資本

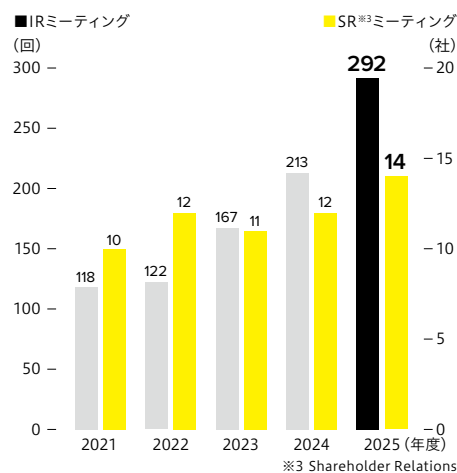


※1 エンゲージメントサーベイ「私は、当社の「Our Philosophy」に共感している」肯定的回答率
 ※2 23年・24年は「Our Philosophy」浸透度調査「共感」または「実践」の比率を記載

特許実案保有件数 (連結) 知的資本



機関投資家との意見交換の開催 (社) 社会関係資本

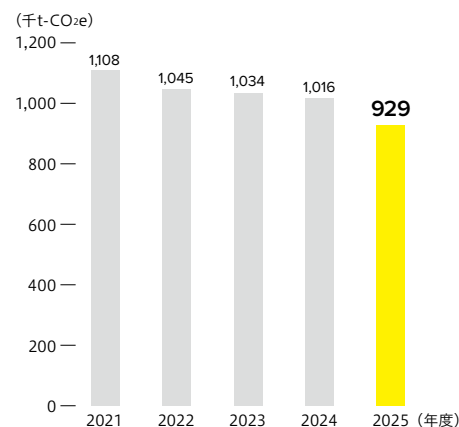


DUNLOP商標権等の取得により
DUNLOP四輪タイヤビジネス展開が
可能となった国数 (社) 社会関係資本



※4 主に欧州・北米・オセアニア地域

温室効果ガス排出量(スコープ1,2) (連結) 自然資本



廃棄物排出量(有価物を除く)
(グループ国内外工場) (社) 自然資本

